

令和6年度における環境の保全及び創造に関する施策の 進捗状況について

第三次入間市環境基本計画

- 令和2年度から令和11年度まで「第三次入間市環境基本計画」により、入間市の環境施策を推進。
- 中間見直しを行った令和6年度に、社会情勢の変化などを考慮し大幅に改定、令和7年度から「第三次入間市環境基本計画(改定版)」に沿った取り組みを実施。



今回の報告対象年度
「令和7年度版いるましの環境」



環境基本計画改定の概要

- 計画期間の1年延長

- 計画期間を、SDGsの目標年度であり、入間市地球温暖化対策実行計画の目標年度でもある令和12(2030)年度に合わせた。

- 基本方針・施策の見直し

- 「地球温暖化」「資源循環」「生物多様性」をめぐる社会情勢を反映し、基本方針1～3を大きく見直し。
- その他の施策についても、実情に応じて整理。交通環境については削除。

- 指標を成果指標として全面見直し

- 各取組の実施数などの73項目の指標を見直し。成果指標として全31項目を設定した。

令和7年度版いるましの環境

(第三次入間市環境基本計画環境報告書)

令和7年度版 いるましの環境

第三次入間市環境基本計画環境報告書
～人と環境が共生するまちをめざして～(案)



— 入間市 —

※この冊子は令和5年度における本市の環境の現状と、「第三次入間市環境基本計画」に基づいた目標の評価を年次報告書としてまとめたものです。市民・事業者・民間団体等の方々に、入間市の環境の現状と、本市の施策に対するご理解とご協力を深めていただくための一助になれば幸いです。

- 環境行政の総合的かつ計画的な施策展開を図るために、施策の実施状況について年度ごとに実績をとりまとめ公表しているもの。
 - 令和7年度版いるましの環境は、令和6年度までの実績を評価したもの。
 - 改定前の「第三次入間市環境基本計画」に沿った最後の報告となる。
 - 次年度からは、「第三次入間市環境基本計画(改定版)」に沿った内容を報告する予定。
-
- 「入間市地球温暖化対策実行計画」に基づく進捗報告も当該報告書の中で行っている。

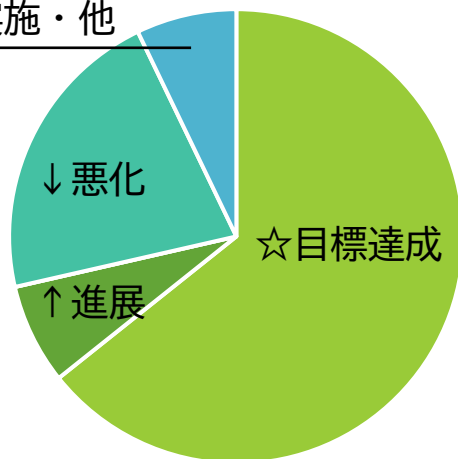


各施策の進捗状況

基本方針1 循環型社会の更なる推進と地球温暖化対策の推進(1)

・循環型社会の推進

※未実施・他



評価	項目数
☆目標達成	9
↑目標に向けて進展	1
→現状維持	0
↓悪化	3
※未実施・他	1

目標は概ね達成。改定版計画では、ごみの排出量削減、資源化率向上と併せて、循環経済の取り組みを追加。

自己評価

- ・ 中間評価時点で、過半数が目標達成。
- ・ ひとり当たりのごみ量、事業ごみの量は順調に減っている。
- ・ 悪化しているものは、いずれも達成が困難な指標。

悪化・未実施の指標

指標	悪化等の理由
ごみの資源化率	ペーパーレス化などにより対象物が減っている
資源再利用団体奨励補助(団体数)	人口減、団体活動の変化
資源再利用団体奨励補助(回収量)	活動団体の減、対象物の減少など
最終処分場建設に向けた準備	埋立→資源化への方針転換により、最終処分場は作らない。

改定版計画 (R 7～)

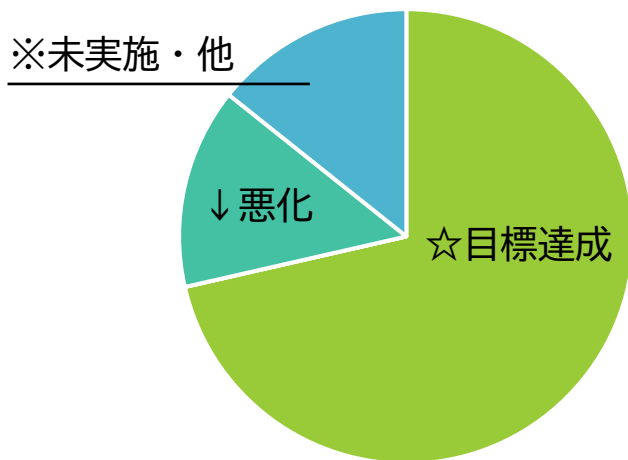
- ・ ごみの排出量や資源化率などの成果指標を指標とし、ごみの減量、資源化を推進。
- ・ 目標値については、実績を踏まえて修正。
- ・ リユースや循環経済について追加。
- ・ 指標の多くは市の取組事項として記載し、これらの取り組みの結果として、ごみの削減や資源化率向上などの成果指標達成を目指す形としている。

各施策の進捗状況

基本方針1 循環型社会の更なる推進と地球温暖化対策の推進(2)

・地球温暖化対策の推進

目標は概ね達成。改定版計画では、既に実施している施策や新たな目標値を設定し、更なる取り組みの強化を目指す。



評価	項目数
☆目標達成	5
↑目標に向けて進展	0
→現状維持	0
↓悪化	1
※未実施・他	0

自己評価

- ・ 中間評価時点で、過半数が目標達成。
- ・ 地球温暖化対策は、社会情勢の変化を受け、計画を上回る積極的な取り組みを多数実施。
- ・ 一方で補助金制度の変更により、悪化、未実施・他となった項目がある。

悪化・未実施の指標

指標	悪化等の理由
住宅用省エネ設備補助金交付件数	補助金制度の変更。国の財源により施策誘導効果の高い設備に高額な補助金を交付する形とした。
雨水利用タンク補助金交付件数	補助金制度の終了による。

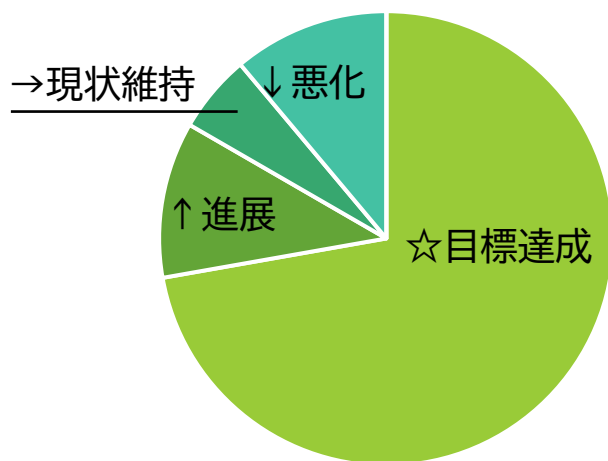
改定版計画（R 7～）

- ・ 2050年カーボンニュートラルを目指し、高い目標設定に変更。
- ・ 入間市地球温暖化対策実行計画との整合や、実際の取り組みを踏まえ、目標達成に向けて積極的に取り組む。

各施策の進捗状況

基本方針2 豊かな自然環境の保全

目標は概ね達成。改定版計画では、生物多様性の回復・保全の視点で施策を整理。



評価	項目数
☆目標達成	13
↑目標に向けて進展	2
→現状維持	1
↓悪化	2
※未実施・他	0

自己評価

- ・ 中間評価時点で、ほとんどが目標達成または進展。
- ・ 計画に沿って着実に事業を実施した。
- ・ 団体の解散によりイベント実施が減少した他、外来種の捕獲数が減少し、悪化となった項目がある。

悪化・未実施の指標

指標	悪化等の理由
イベント開催	共催団体の解散によりイベントが中止となった
外来種(コクチバス)の捕獲	捕獲数の減少理由は不明だが、捕獲は継続しており、外来種が少なくなったのであれば問題ない。

改定版計画（R 7～）

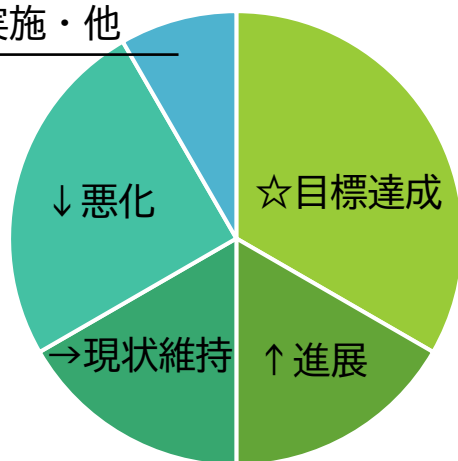
- ・ 自然環境保全の目的を生物多様性の維持として整理。
- ・ 調査回数などの取組指標を削除し、イベントの参加者数や保全面積を指標として設定。

各施策の進捗状況

基本方針3 住みやすさが実感できる都市環境の構築

目標は約半数で進展。改定版計画では、交通分野を削除し、制度変更を踏まえて取り組みを整理。

※未実施・他



自己評価

- ・ 中間評価時点で、半数が目標達成または進展。
- ・ 都市緑化は、制度変更により一部が達成困難。交通環境は概ね達成。歴史・文化の保全については団体活動の縮小により悪化した項目がある。

改定版計画（R 7～）

- ・ 交通については計画から削除。
- ・ 身近な緑の充実や、歴史・文化を大切にしたい景観の保全といった目的に沿って取り組みを整理。

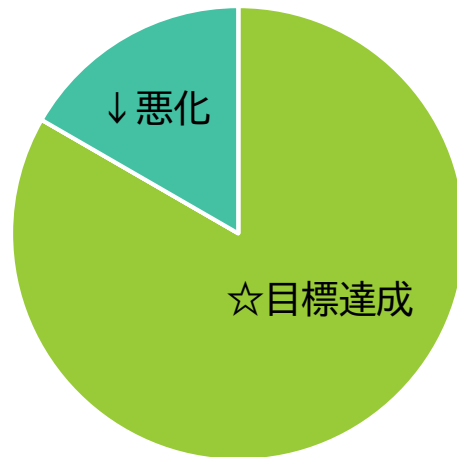
悪化・未実施の指標

指標	悪化等の理由
保護樹林・市民の森の面積	制度変更により減少
生垣奨励補助	補助金制度見直しにより凍結
旧石川組製糸西洋館、旧黒須銀行の来館者数	旧黒須銀行の復元修理工事による閉館日の減
伝統文化活動団体の会員数	団体活動の縮小

各施策の進捗状況

基本方針4 安心して健康に暮らせる生活環境の保全

目標は概ね達成。改定版計画では、調査件数ではなく、成果指標として調査結果による評価とします。



自己評価

- ほとんどの項目で目標達成。
- 水質・大気などの調査や苦情に対して適正な対応を行っている。

改定版計画（R 7～）

- 指標を調査実施件数から、調査結果へと変更し、大気・水質等の状況を評価する形に変更。

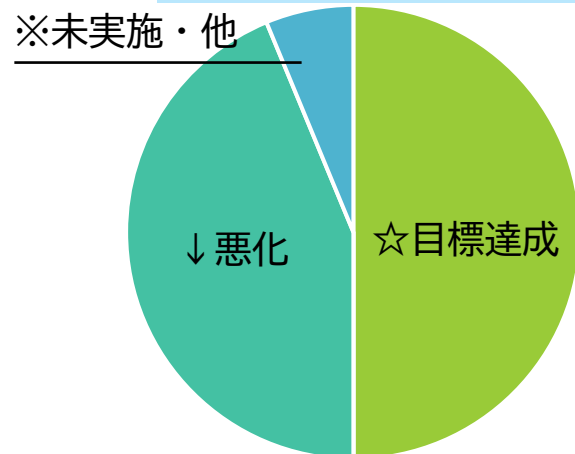
悪化・未実施の指標

指標	悪化等の理由
工場・事業所等への水質調査件数	近年実績に基づき対象を絞って調査を実施したため、件数が減少した。

各施策の進捗状況

基本方針5 環境学習の推進と環境活動の実践

指標の半数が達成。人口や団体活動の変化により市民活動の規模を拡大するのが困難となっている。
改定版計画では、実情にあわせて取り組み内容を整理し、より広く学びの場や活動の場の充実を目指します。



自己評価

- ・ 半数が目標達成。
- ・ 人口減、団体活動の縮小等により、市民活動の参加人数等については、減少傾向にあり、悪化している。

悪化・未実施の指標

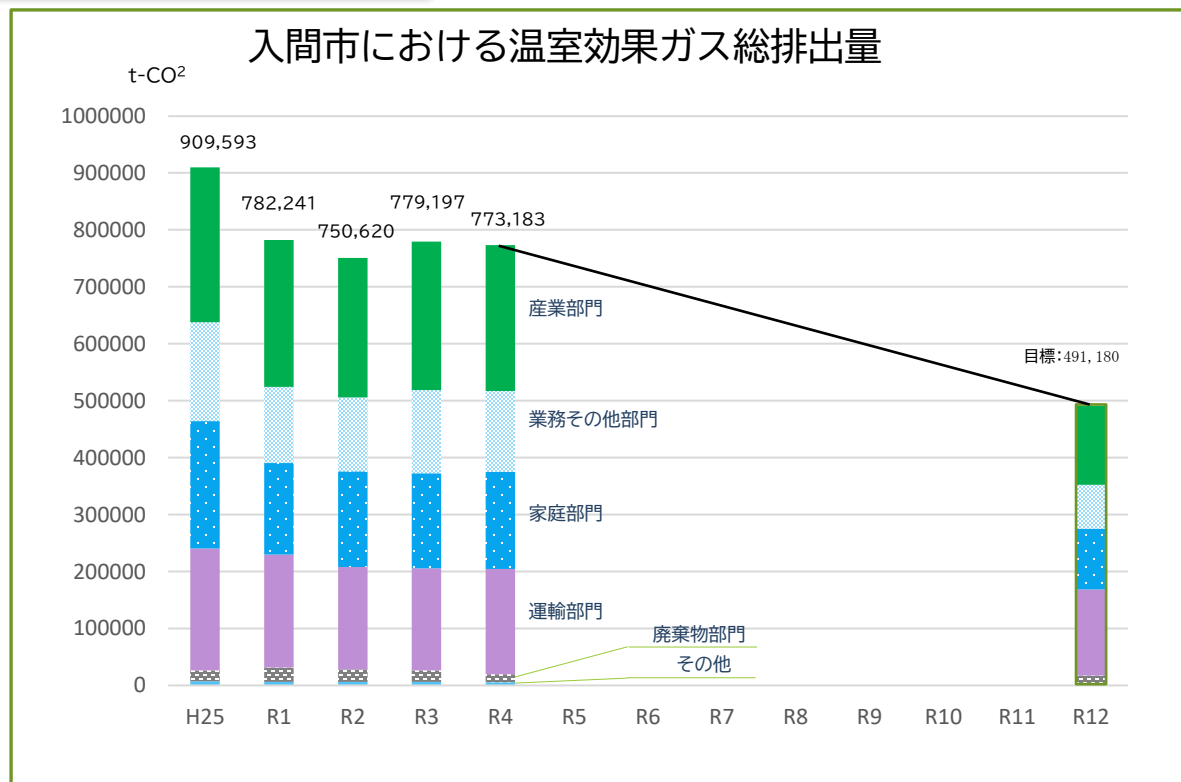
指標	悪化等の理由
いるま環境フェアの参加団体数	共催団体の解散によるイベント中止
環境市民講座等の開催回数	制度変更による実施機会減少
博物館と学校の連携による環境学習への参加者数	児童数の減
COOLCHOICE運動について広報しているまへの掲載数	他記事等の関係からR6は掲載を見送った
フリーマーケット等の開催回数	あおぞらフリーマーケットの廃止
資源再利用団体の登録数	人口、団体活動の変化
資源再利用団体の回収量	活動団体の減、対象物の減少等
市民清掃デーの参加世帯数割合	高齢化、自治体活動への参加状況の変化

改定版計画（R 7～）

- ・ 指標を開催回数から参加者数に変更。
- ・ 他の方針の取組内容に応じ内容を整理。

入間市地球温暖化対策実行計画 進捗状況 (区域施策編)

• 全体の進捗

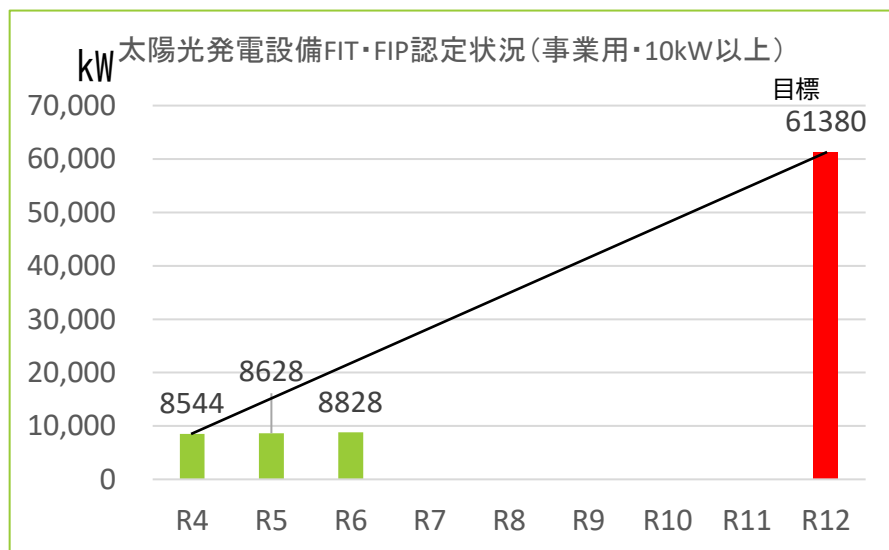


- 令和4年度時点で、平成25年度比△15.0%です。
- 令和12年度目標（△46%）を達成するためには、年間35,250トンのCO₂排出量削減が必要です。
- 排出量の算定は環境省の自治体排出量カルテに基づいて算出しており、公表までに2年かかる他、市の施策効果が反映されづらいため、算定方法の検討も必要です。

入間市地球温暖化対策実行計画 進捗状況 (区域施策編)

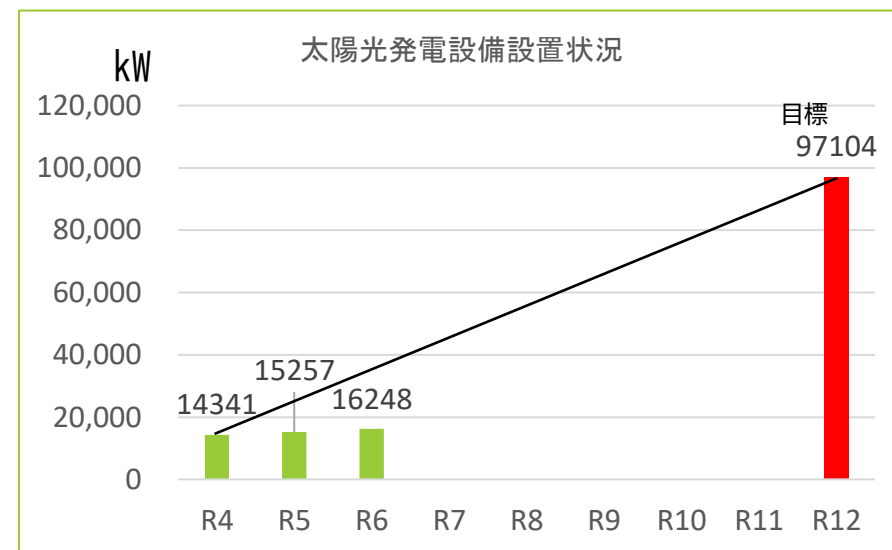
・部門別取組状況

産業部門・業務その他部門



自家消費型の太陽光発電設備は含まれないため、実際はこれより多く設置されていると思われますが、目標に向けてまだまだ導入が進んでいない状態です。

家庭部門

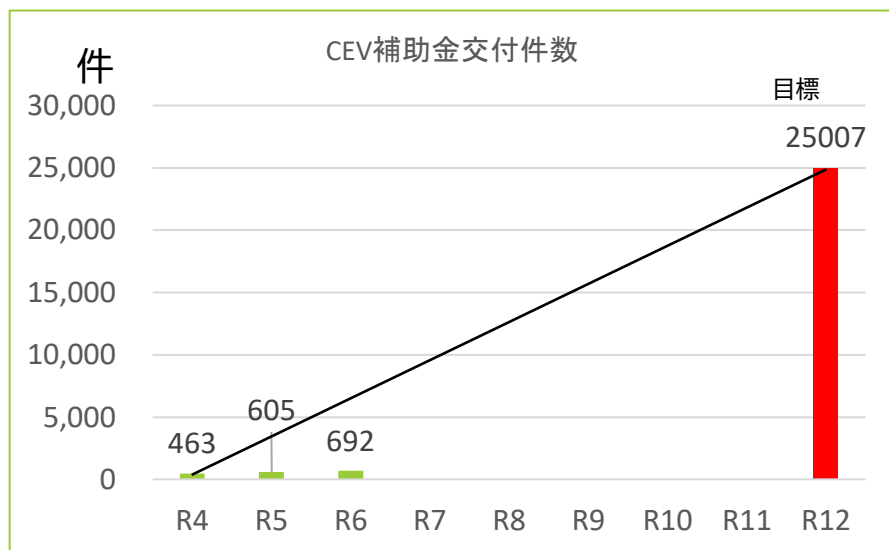


FIT・FIPの認定状況(10kW未満)に非FITで市の補助を受けた太陽光発電設備を加えて算出しています。少しずつ増えていますが、目標には全く届きません。

入間市地球温暖化対策実行計画 進捗状況 (区域施策編)

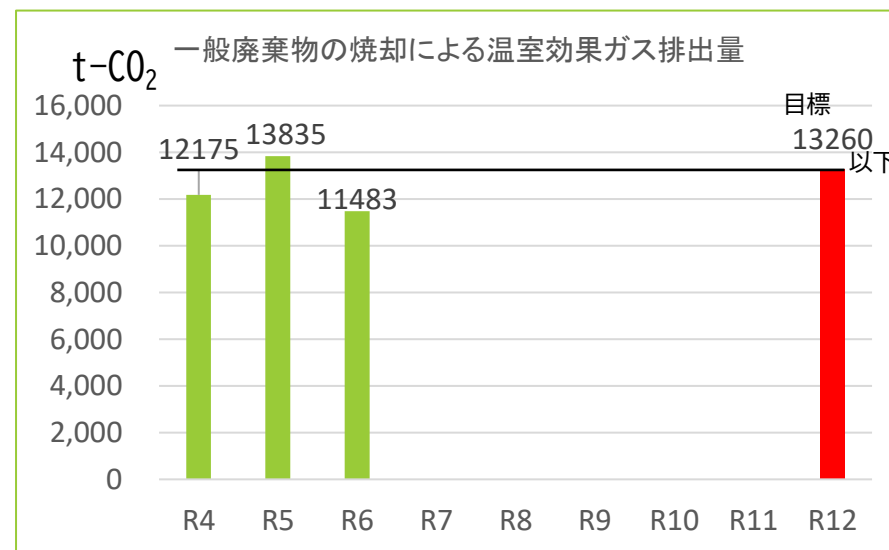
・部門別取組状況

運輸部門



運輸部門では、R12年度までに全車両の28%を次世代自動車とすることを目標としています。CEV補助金の交付を受けている車両としては、累計値で見ても車両保有数の0.8%程度です。

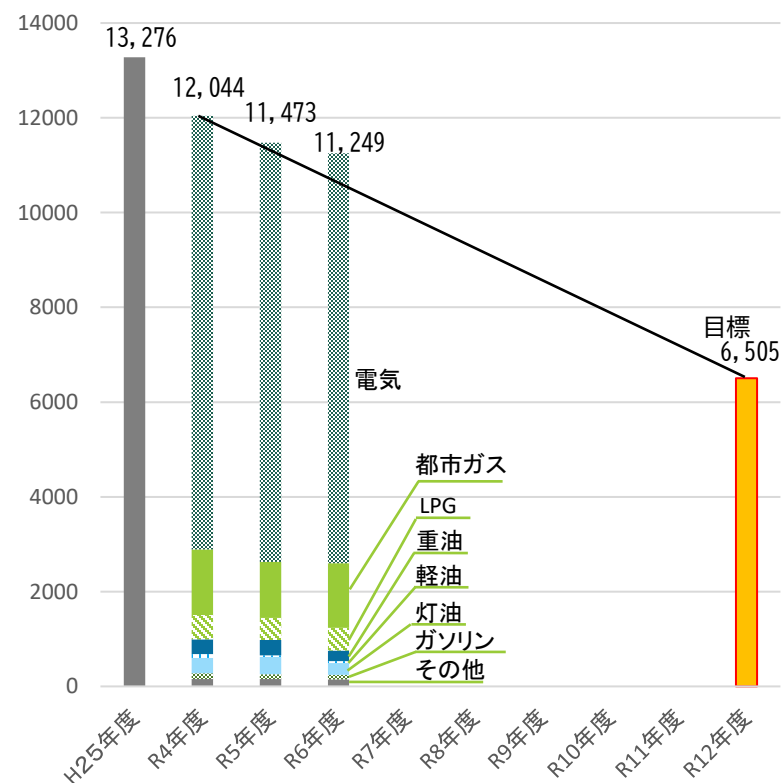
廃棄物部門



家庭ごみ等に含まれるプラスチックごみの焼却などにより排出されるCO₂について、ごみの総量、プラスチックごみの含有率が下がっており、廃棄物部門については目標を達成しています。

入間市地球温暖化対策実行計画 進捗状況 (事務事業編)

市の事務事業における温室効果ガス排出量



令和6年度の取組状況

太陽光発電設備の導入

R6年度導入による
削減見込み
335 t-CO₂/年

産業文化センター、市民活動センター、鍵山浄水場、扇町屋配水場の4か所に合計686 kWの太陽光発電設備を設置しました。

LED照明の導入

R6年度導入による
削減見込み
225 t-CO₂/年

地区センターや保育所、健康福祉センターなど合計14施設に、10年間の一括リース方式によりLED照明を導入しました。また、改修工事等でも順次照明のLED化を進めています。

移動の低炭素化

R6年度削減実績
25 t-CO₂

令和6年度は藤沢地区センターにEVを導入し、EVは13台となりました。車両の入れ替えや走行距離の減少により、公用車使用によるCO₂排出量は、令和4年度より25 t-CO₂（約17%）減少しています。